



# TBS

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	269,318	13.1	23,198	90.6	33,385	58.4	21,367	△34.2
2021年3月期第3四半期	238,223	△11.6	12,170	5.3	21,076	4.4	32,472	162.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 133,010百万円 (△9.0%) 2021年3月期第3四半期 146,117百万円 (81.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	125.08	—
2021年3月期第3四半期	190.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,267,346	925,677	71.9
2021年3月期	1,100,223	794,884	71.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 910,891百万円 2021年3月期 781,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	22.00	37.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	357,700	9.8	21,500	98.3	31,500	63.8	32,200	14.7	188.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	174,709,837株	2021年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,835,355株	2021年3月期	3,940,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	170,828,780株	2021年3月期3Q	170,860,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(株)TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくと期待される一方、変異株などの感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスク、ならびに金融資本市場の変動等の影響も予想される状況にあります。

テレビ広告市況は多くの業種で景況が回復しており、スポット広告費の関東地区投下量は前年同期比126.8%と改善しました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、タイム・スポット収入の大幅な増収などにより、2,693億1千8百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、東京オリンピック・パラリンピックなどの番組制作費や広告代理店手数料の増加などにより、2,461億2千万円（前年同期比8.9%増）となりました。

この結果、営業利益は231億9千8百万円（前年同期比90.6%増）、経常利益333億8千5百万円（同58.4%増）となりました。一方、投資有価証券売却益の減少の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は213億6千7百万円（同34.2%減）となりました。

### ◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,111億2千1百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は、143億6千5百万円（同185.7%増）となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、226億6千1百万円増収の1,451億6百万円（前年同期比18.5%増）となりました。このうち、タイム収入が627億8千2百万円（同5.6%増）、スポット収入が624億6千2百万円（同27.9%増）、コンテンツ収入が159億8千万円（同41.7%増）となりました。タイム収入については「マスターズ」や「東京オリンピック・パラリンピック」などスポーツイベントを中心とした単発番組、年末セールスの好調により、増収となりました。スポットセールスについては、広告主による関東地区投下量の前年同期比26.8%増が大きく貢献し、大幅な増収となりました。5局シェアは20.1%と前年同期比0.2ポイント増となりました。コンテンツ収入については、前年同期の巣ごもり需要による番販の活況からの反動減があったものの、ドラマを中心とした無料・有料動画配信の好調によって大幅な増収となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、25億3千4百万円増収の163億1千4百万円（前年同期比18.4%増）となりました。催事・興行では、「スタンディングオベーション」や「スターズ・オン・アイス ジャパンツアー2021」、「舞台『刀剣乱舞』无伝 夕紅の士-大坂夏の陣-」などが上演されたことや、「ゴッホ展 響きあう魂 ヘレーネとフィンセント」の好調により増収となりました。アニメは「五等分の花嫁」などの2次利用収入や「プラチナエンド」の海外番販収入の好調により増収となりました。海外事業では、中国・韓国への番販環境の回復や、SASUKEなどフォーマット販売も復調し、増収となりました。一方で、メディア事業は、CS事業がアロケーションの向上などにより好調でしたが、有料配信事業のテレビ部門への移管により、減収となりました。マーチャンダイジングセンターは、DVD収入の前年同期の巣ごもり需要の反動減などにより減収となりました。

(株)TBSラジオの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、タイムセールスが堅調に推移し、2億8千5百万円増収の64億4千2百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

(株)BS-TBSの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、タイムレギュラーセールスの苦戦がありつつも、「東京オリンピック・パラリンピック」や、プロ野球、ゴルフ、バレーボールなどのスポーツイベント開催による反動増や好調なスポット市場に支えられ、6億2百万円増収の120億7千9百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

(株)TBSグロウディアの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、ショッピング部門における巣ごもり需要の反動により、42億1千8百万円減収の209億6千9百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

(株)日音の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、洋楽収入が落ち込んだことにより、10億3千5百万円減収の62億5千9百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

TCエンタテインメント(株)の当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、新譜のDVD販売が好調に推移したため、6億円増収の63億5千2百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

費用面においては、レギュラー番組の制作やスポーツ単発の復活による制作費の増加に加え、(株)TBSテレビの事業部門も催事・興行の上演再開などにより費用が増加しました。また、広告代理店手数料も増加しました。

以上の結果、同セグメントにおける営業利益は93億3千6百万円増益となる143億6千5百万円（前年同期比185.7%増）となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は、463億8千7百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は29億9千4百万円（同249.6%増）となりました。

スタイリングライフグループでは、中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」は、緊急事態宣言の発出による店舗休業や時短営業を強いられたものの、10月には宣言が解除され年末までは感染の小康状態が続いたことで、来客者の増加に繋がり増収増益となりました。通信販売事業の(株)ライトアップショッピングクラブが巣ごもり需要拡大基調の中、顧客数及び顧客単価を伸ばし増収増益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は118億9百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益58億3千7百万円（同7.2%減）となりました。

収入面は減収ながら堅調に推移し、費用面で修繕費が増加したことにより減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1兆2,673億4千6百万円で、前連結会計年度末に比べて1,671億2千2百万円の増加となりました。現金及び預金が配当金の支払いや有形固定資産の取得等により230億8千4百万円減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が前期末の受取手形及び売掛金と比べ250億7千7百万円増加、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が1,602億8千8百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は3,416億6千9百万円で、前連結会計年度末に比べて363億3千万円の増加となりました。未払金が38億2千5百万円減少、未払法人税等が128億1千9百万円減少した一方、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が529億2千8百万円増加したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は9,256億7千7百万円で、前連結会計年度末に比べて1,307億9千2百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き185億5千9百万円増加、その他有価証券評価差額金が1,108億8百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は71.9%、1株当たりの純資産は5,330円77銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年11月11日公表の予想を修正いたしました。詳細については、本日（2022年2月10日）公表いたしました「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	116,121	93,037
受取手形及び売掛金	43,008	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	68,086
有価証券	—	60
商品及び製品	7,610	8,130
番組及び仕掛品	6,287	8,231
原材料及び貯蔵品	554	692
前払費用	8,063	11,803
その他	8,554	12,631
貸倒引当金	△147	△143
流動資産合計	190,053	202,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	210,807	211,470
減価償却累計額	△123,473	△127,647
建物及び構築物(純額)	87,333	83,823
機械装置及び運搬具	76,882	78,370
減価償却累計額	△69,382	△71,041
機械装置及び運搬具(純額)	7,500	7,328
工具、器具及び備品	32,854	18,086
減価償却累計額	△30,448	△15,575
工具、器具及び備品(純額)	2,406	2,510
土地	126,409	127,899
リース資産	1,954	1,992
減価償却累計額	△1,592	△1,635
リース資産(純額)	361	356
建設仮勘定	7,871	6,762
有形固定資産合計	231,883	228,681
無形固定資産		
ソフトウェア	7,062	6,592
のれん	11,408	10,061
その他	762	915
無形固定資産合計	19,234	17,568
投資その他の資産		
投資有価証券	646,435	806,724
長期貸付金	210	187
繰延税金資産	2,477	1,748
長期前払費用	169	229
その他	9,951	9,867
貸倒引当金	△192	△190
投資その他の資産合計	659,052	818,566
固定資産合計	910,170	1,064,817
資産合計	1,100,223	1,267,346

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,289	40,753
1年内返済予定の長期借入金	600	—
未払金	13,439	9,613
未払法人税等	14,893	2,073
未払消費税等	2,359	3,124
未払費用	1,723	1,725
賞与引当金	3,940	1,254
役員賞与引当金	40	20
その他	9,890	11,424
流動負債合計	86,176	69,989
固定負債		
長期借入金	27,000	27,000
退職給付に係る負債	15,128	15,026
リース債務	436	221
繰延税金負債	161,073	214,001
その他	15,523	15,429
固定負債合計	219,162	271,679
負債合計	305,338	341,669
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	47,473	47,465
利益剰余金	328,723	347,282
自己株式	△6,376	△6,188
株主資本合計	424,807	443,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,515	467,323
繰延ヘッジ損益	49	21
為替換算調整勘定	△8	24
退職給付に係る調整累計額	9	△24
その他の包括利益累計額合計	356,566	467,345
非支配株主持分	13,511	14,785
純資産合計	794,884	925,677
負債純資産合計	1,100,223	1,267,346

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	238,223	269,318
売上原価	165,325	178,287
売上総利益	72,898	91,031
販売費及び一般管理費	60,727	67,833
営業利益	12,170	23,198
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	8,271	10,249
持分法による投資利益	915	346
その他	372	429
営業外収益合計	9,570	11,033
営業外費用		
支払利息	50	69
固定資産除却損	116	67
控除対象外消費税等	195	67
投資事業組合運用損	—	315
その他	301	325
営業外費用合計	663	846
経常利益	21,076	33,385
特別利益		
投資有価証券売却益	29,739	1,149
雇用調整助成金	※1 777	※1 102
固定資産売却益	149	—
特別利益合計	30,666	1,252
特別損失		
事業構造改善費用	—	1,176
感染症拡大に伴う損失	※2 1,499	※2 152
固定資産撤去費	—	120
投資有価証券評価損	157	103
減損損失	746	45
段階取得に係る差損	—	14
組織再編関連費用	125	—
特別損失合計	2,527	1,612
税金等調整前四半期純利益	49,215	33,025
法人税、住民税及び事業税	16,432	7,693
法人税等調整額	44	3,100
法人税等合計	16,477	10,794
四半期純利益	32,737	22,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	265	863
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,472	21,367



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	32,737	22,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,424	110,825
繰延ヘッジ損益	△25	△28
為替換算調整勘定	△37	33
退職給付に係る調整額	31	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△16
その他の包括利益合計	113,379	110,780
四半期包括利益	146,117	133,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,845	132,147
非支配株主に係る四半期包括利益	271	863

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、雇用調整助成金の特例措置の適用を受けたものであり、当該支給額を「雇用調整助成金」として特別利益に計上しております。

※2 感染症拡大に伴う損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費（人件費・賃借費・減価償却費）等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	184,633	41,620	11,969	238,223	—	238,223
セグメント間の内部売上 高又は振替高	215	17	3,789	4,022	△4,022	—
計	184,848	41,638	15,759	242,246	△4,022	238,223
セグメント利益	5,029	856	6,290	12,176	△6	12,170

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	211,121	46,387	11,809	269,318	—	269,318
セグメント間の内部売上 高又は振替高	273	5	3,881	4,161	△4,161	—
計	211,395	46,393	15,690	273,479	△4,161	269,318
セグメント利益	14,365	2,994	5,837	23,197	0	23,198

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

(株)TBSテレビ事業収入の内訳 (第3四半期)

(単位:百万円)

区分	前第3四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	比較		前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	122,445	145,106	22,661	18.5	168,147
タイム	59,460	62,782	3,322	5.6	78,467
スポット	48,851	62,462	13,610	27.9	69,879
コンテンツ	11,274	15,980	4,706	41.7	15,870
その他	2,859	3,881	1,022	35.8	3,929
事業	13,780	16,314	2,534	18.4	18,441
不動産	2,272	2,262	△9	△0.4	3,026
合計	138,497	163,683	25,186	18.2	189,615